別添資料5

児童発達支援事業所における自己評価結果

公表: 令和4年3月 1日　　事業所名　大阪発達総合療育センター ゆうなぎ園

		チェック項目	回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	はい	出席人数に応じて、集団を分けています。	3密を防ぎ、環境調整し安全に務めます。
	2	職員の配置数は適切である	はい	法令を遵守し、支援内容に応じて職員体制を工夫しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	はい	利用者の状況に応じて、情報伝達方法を配慮するようにしています。	建物が古く段差がありますが、実際場面での対処につながるよう支援につなげていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	はい	園内の清掃、感染対策の消毒を適時行っております。活動に応じて部屋環境を調整しています。	利用児の機能に多様性が大きく、都度安全性を確認し、活動に応じた空間づくりをしていきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	はい	支援は目標を設定し、実行し、振り返りを定期的に行っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	はい	評価表でいただいたご結果や、ご意見を事業所内で共有しています。	いただいたご意見を職員間で共有し、改善に努めます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	はい	評価結果は施設内に掲示し、法人のホームページにも掲載しております。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	いいえ		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	はい	今年は、コロナ禍でリモートを活用して機会を作っています。	職員の意欲はあるが、時間を設定するために年間の計画が必要。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	はい	家族、関係機関からの情報収集を行い支援計画に反映させています。	子どもの発達や、環境の変化などに応じた支援計画の更新をタイムリーに行うように務めます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	はい	定期的に言語発達のアセスメントを実施しています。	支援に有効な新たなアセスメントツールを、検討していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	はい	発達支援、家族支援、移行支援を柱とし、具体的な活動の支援計画を立てています。	引き続き発達支援、家族支援、地域移行支援を柱とした支援の実践をめざします。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	はい	支援計画に沿いつつ、見直しも行いながら支援しています。	子どもや家族のニーズや生活環境の変化に適切に対応するように務めます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	はい		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	はい	子ども集団に応じて、活動内容の工夫をしています。	子どもの年齢に応じて多様な経験ができるよう、活動を提供していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	はい	今年度は新型コロナ感染対策も考えあわせた活動になっています。	感染対策と、子どもの発達促進を実現できるよう立案していきます。

		チェック項目	回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	はい		計画の実現にむけて、効率よく打ち合わせや振り返りができるよう工夫していきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	はい		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	はい		記録の検証への活用は、今後の課題です。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	はい	定期的にモニタリングを実施しています。保護者のご希望、利用児の変化に応じて支援計画の見直しを行います。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	はい	課題に応じて適切な職種が参加できるようにしています。	参加できない場合も、報告、伝達を行うようにします。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	はい	地域の担当保健師、主治医、機関病院の地域連携室、保育所、幼稚園、教育機関など子どもと関わる機関との連携に努めております。	保護者の悩みについて、地域の保健師との連携をタイムリーに取れるようにしていきます。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	はい	移行支援として、在園中より移行先と連携を取り合い、具体的支援方法、リスク管理などを実際の場面で伝達しています。移行後は保護者からの希望に沿って、移行先への訪問により、さらに発達を促せるよう情報共有と相互理解を図っています。	利用児の移行先への適応を、保護者と相談しつつ支援していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	はい		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	はい	大阪府立福祉情報コミュニケーションセンターや、こめっこ、ひだまりMOEさんなどと連携をとっています。	引き続き、連携をとるよう進めていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	いいえ		必要性について、今後の検討課題としていきます。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	はい		自立支援協議会の機能や役割の理解に努め、参画していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	はい	常に、保護者に説明し意見交換しあい、支援を行うようにしています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	はい	保護者研修の機会を設けています。	保護者のニードを把握し、交流や研修の機会を作ります。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	はい	契約にあたり、ご説明やご質問について個別での対応も行っております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	はい	家族の希望をお聞きし、アセスメントをもとに個別支援計画を立案し、保護者に説明し同意を得ています。	

		チェック項目	回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	はい	日頃から、保護者との対話時間を設け、相談していただきやすいようにしています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	いいえ	コロナ禍で、保護者の集まりは自粛しております。	父母会としての活動の在り方は、保護者と相談し考えていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	はい		引き続き全職員が保護者のご相談に真摯に向き合い、報連相により迅速に対応し周知するよう努めます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	はい	メールや園だより・掲示物を活用し、発信しています。法人の広報誌にて、近況を掲載しています。	連絡メールを活用し、タイムリーな発信に務めます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	はい	写真の使用など、保護者の許可の確認をしています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	はい	それぞれのコミュニケーション力に応じて手話や指文字なども用いています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	いいえ		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	はい	避難訓練を年に2回実施しております。1月に1回、職員による防災訓練を行っています。	保護者の防災に関する意識を向上するよう、広報に努めます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	はい		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	はい	入所時に服薬やアレルギーの有無、予防接種などの情報収集を行い、随時医師の指示に基づき看護師が対応しております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	はい		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	はい	職員全体で共有するようにしております。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	はい	法人内にて毎年研修を開催しております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	はい	安全上必要な身体拘束については、個別支援計画に具体的に明記し、支援終了後に不適切な対応がなかったかを、保護者に説明し同意を得ています。	適正委員会を定期的に開催し、研修も定期的に実施します。止む負えない拘束については状況・理由などを適切に記録します。

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。